

2011年度新入生アンケート調査結果報告

法政大学への満足度は70.5% (前年比約10ポイント上昇)

入学学部への満足度は67.3% (前年比約11ポイント上昇)

「授業に関心もてる」と回答した学生は58.7% (前年比12.5ポイント上昇)

大学在学中の目標で重要なものは「将来の仕事に役立つ知識を身につける」

半数以上(55.4%)が「法政大学を勧めたい」

法政大学大学評価室では、2011年6～7月、新入生を対象としたアンケート調査を実施しました。[有効回答数：2448件(回収率：37.8%)]

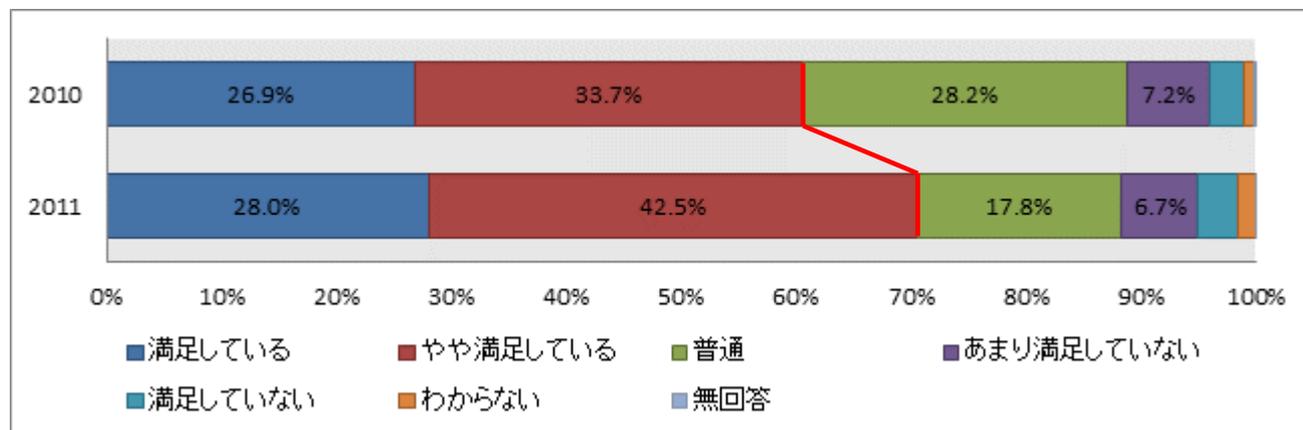
1 調査結果

1.1 法政大学および入学学部に対する満足度

図1.1.1および図1.1.2は、「現時点で、法政大学および入学学部に対してどの程度満足していますか」との質問に対する回答結果です。

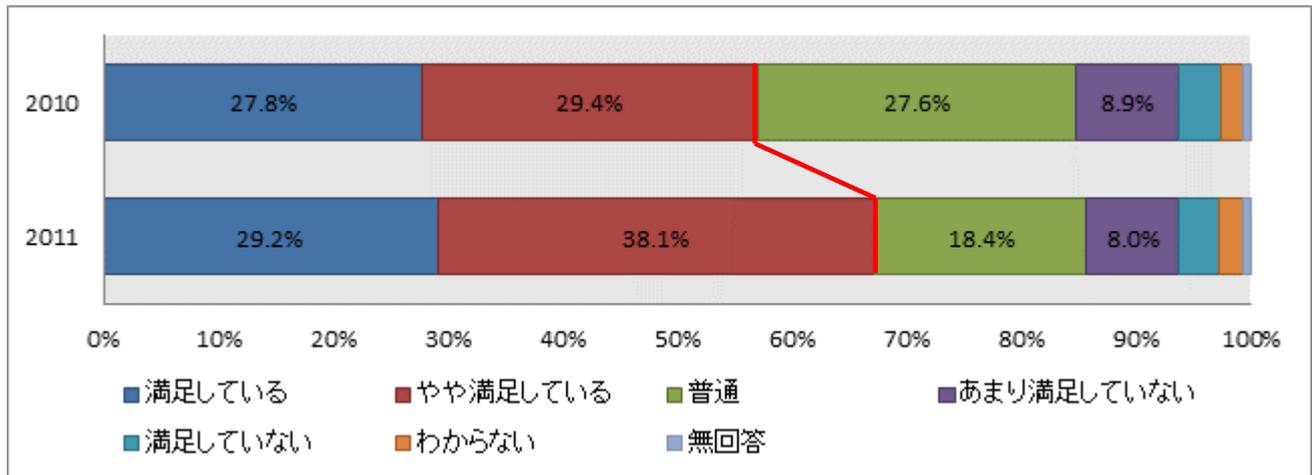
大学に対する満足度(「満足している」と「やや満足している」の合計、以下同様)は、70.5%であり、2010年度(60.6%)に比べて約10%上昇しました。

図1.1.1 法政大学に対する満足度



入学学部に対する満足度は、67.3%でした。こちらも2010年度(57.2%)に比べて約10%上昇しています。

図 1.1.2 入学学部に対する満足度

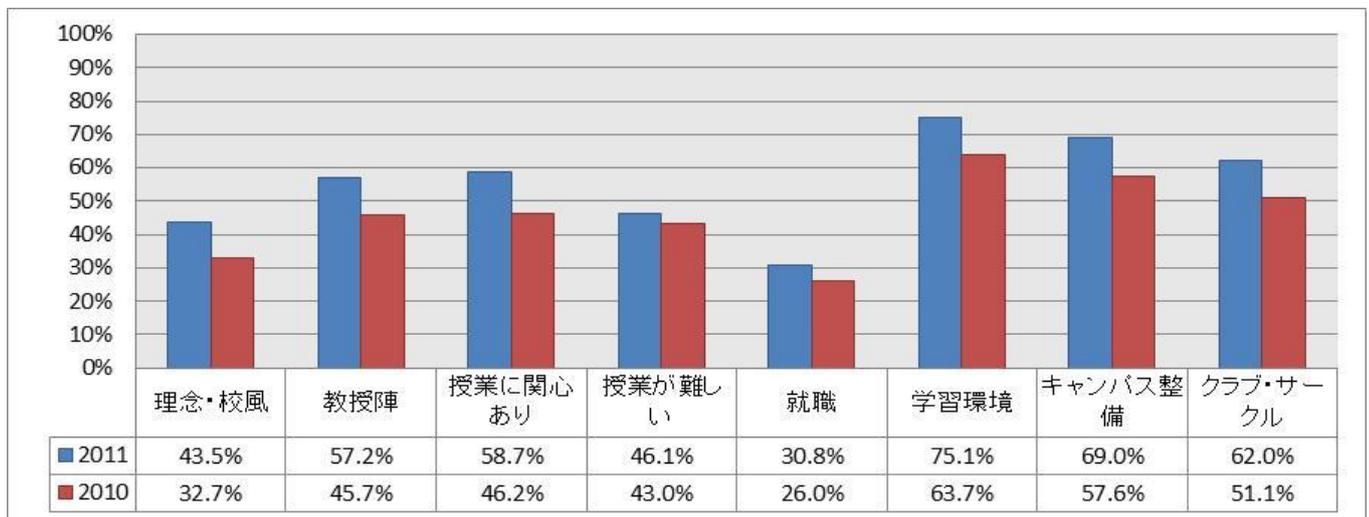


1.2 法政大学および入学学部について

図 1.2.1 は「現時点で、法政大学（および入学学部）についてどのように感じていますか」に対する肯定的な回答（「そう思う」と「いくらかそう思う」の合計）を集計した結果です。①「理念や校風に魅力がある」、②「教授や講師に魅力的な人がいる」、③「授業に関心がもてる」、④「授業の理解が難しい」（否定的）、⑤「就職に強い」、⑥「図書館などの学習環境が充実している」、⑦「キャンパスがきれいである」、⑧「クラブやサークル活動が充実している」の 8 項目について質問しました。

2010 年度に比べ、ほぼ全項目で、肯定的回答の割合が上昇しました。特に、「授業に関心もてる」（58.7%）は 12.5 ポイント上昇しました。「図書館などの学習環境が充実している」（75.1%）、「キャンパスがきれいである」（69.0%）も高くなっています。

図 1.2.1 法政大学および入学学部についての肯定的（授業が難しいのみ否定的）な感想

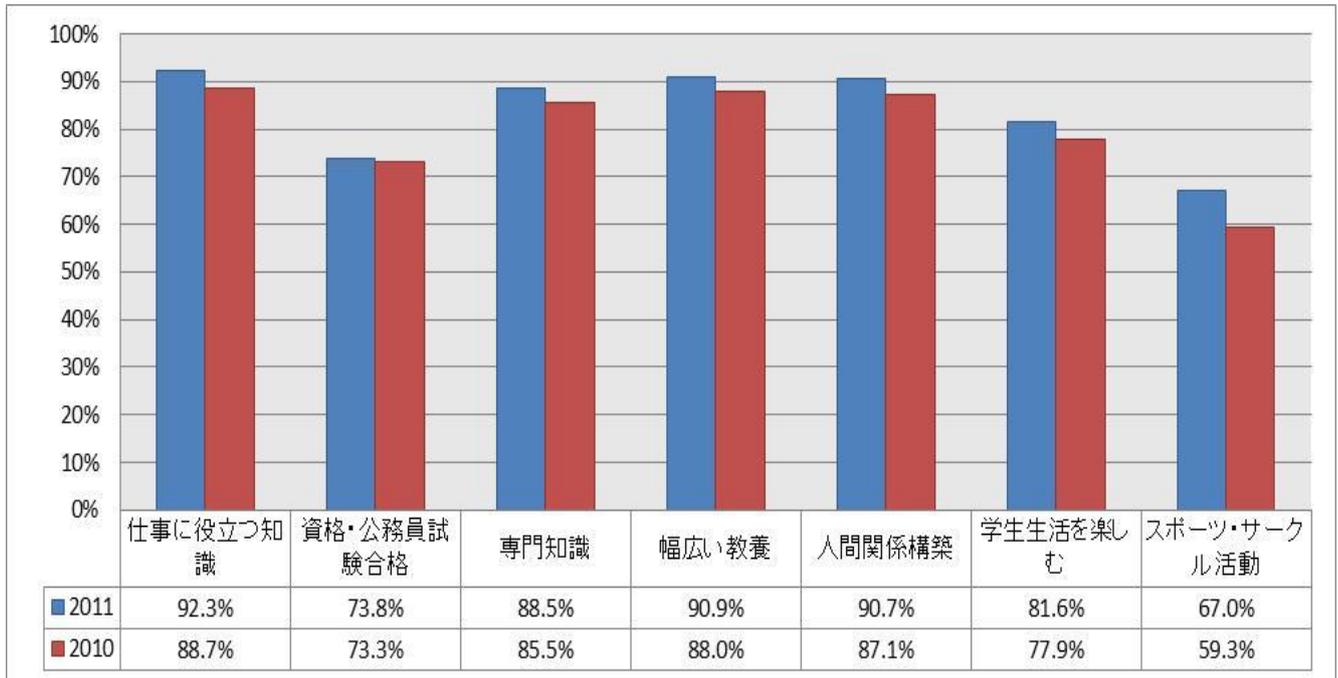


1.3 大学在学中の目標

図 1.3.1 は「あなたは大学在学中の目標として、どのようなことが重要ですか」との質問に対する重要度（「重要である」＋「いくらか重要である」）を集計した結果です。①将来の仕事に役立つ知識を身につける、②資格試験・公務員試験などに合格する、③専門分野の知識・理解を深める、④広い教養・ものの見方を身につける、⑤有意義な人間関係を築く、⑥社会人になるまでの時間を楽しむ、⑦スポーツ・サークル活動に力を入れる、の 7 項目について質問しました。

項目別では、「将来の仕事に役立つ知識を身につける」が最も多く 92.3%、ついで「広い教養・ものの見方を身につける」（90.9%）、「有意義な人間関係を築く」（90.7%）、の順となっています。

図 1.3.1 大学在学中の目標

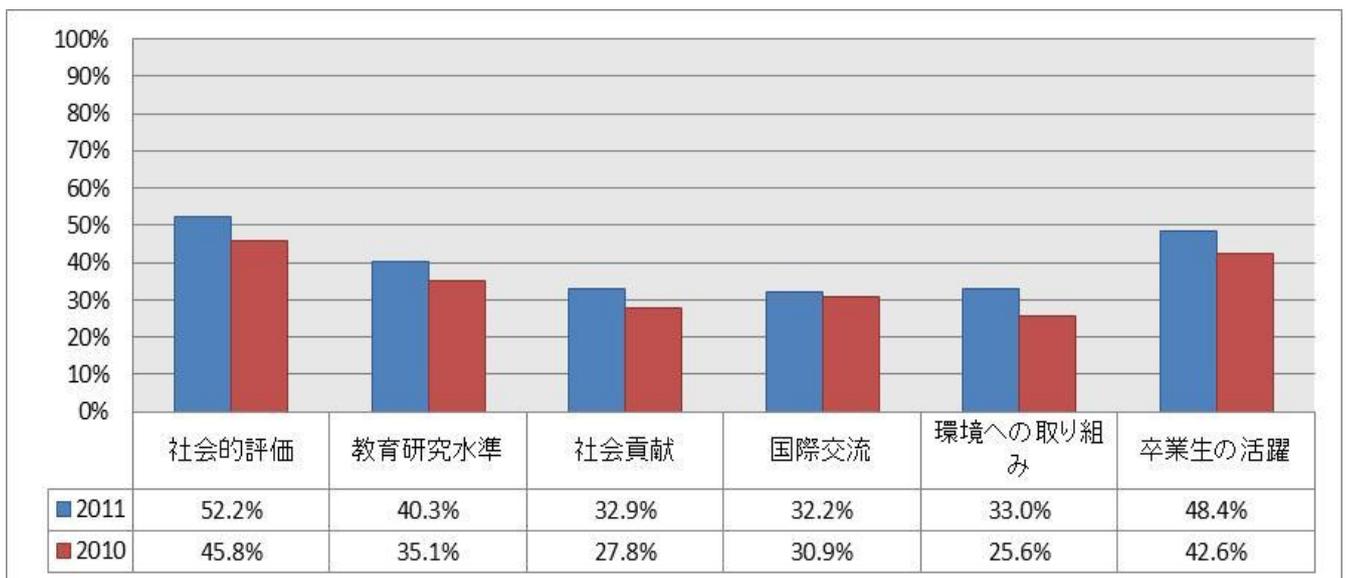


1.4 法政大学の評価（イメージ）

図 1.4.1 は、「法政大学は社会からどのように評価されていますか」の質問に対する肯定的な回答（「そう思う」＋「いくらかそう思う」の割合）を集計した結果です。①社会的にも高く評価されている、②教育研究水準は相対的に高い、③教育研究を通して社会貢献に貢献している、④国際交流は活発である、⑤環境への取組を通して社会貢献に貢献している、⑥卒業生は社会的に活躍している、の6項目について質問しました。

その結果、全項目で評価が2010年度より上昇しました。項目別では、社会的評価（52.2%）、卒業生の活躍（48.4%）の順となっています。

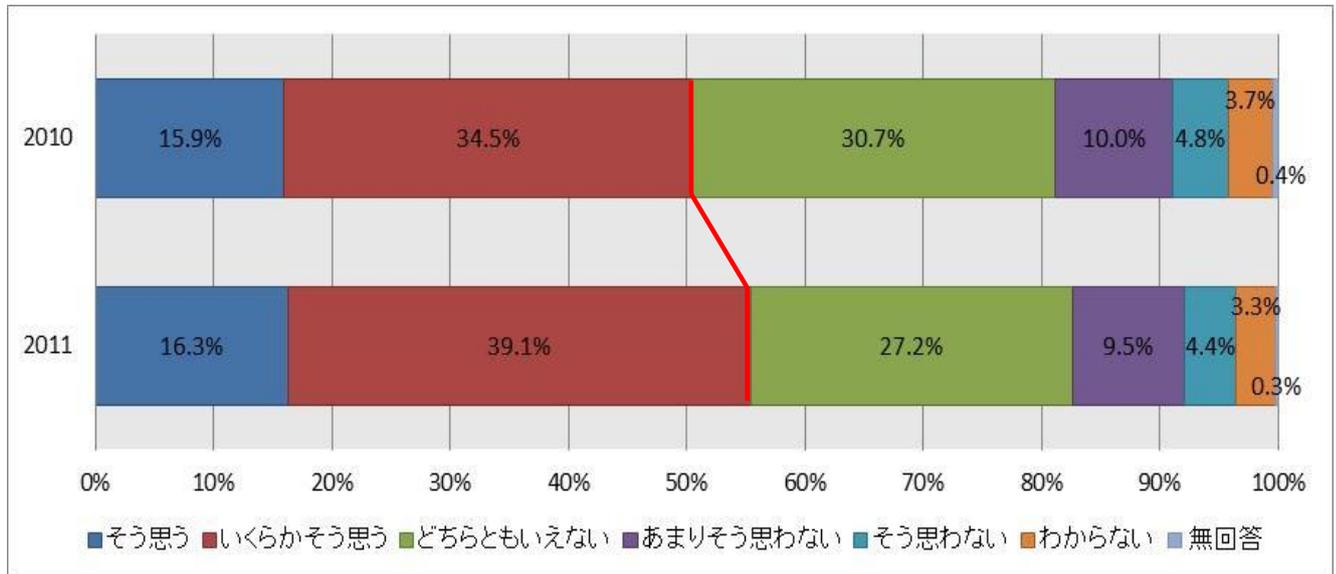
図 1.4.1 法政大学のイメージ 全学 (%)



1.5 法政大学を勧めたいと思うか

図 1.5.1 は、「もし身近に四年制大学への進学希望者がいる場合、法政大学を勧めたいと思いますか」の質問に対する肯定的回答（「そう思う」と「いくらかそう思う」の割合）を集計したものです。半数以上の 55.4%の学生が「法政大学を勧めたい」と回答しています。

図 1.5.1 法政大学を勧めたいか 全学 (%)



以上